

結果 2021年度 事業者等向け 放課後等デイサービスアンケートまとめ

クレヨンキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善方法・回答
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	5		限られたスペースをいかに有効かつ安全に使用できるかを定期的に話し合いをし、棚や家具の配置などを見直しています。また、必要なものと不要なものの仕分けも定期的に行い、快適に過ごせるよう工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1		基準以上の人員配置をしていますが、個別対応が必要なお子さんの人数が多い日は少ないと感じるかもしれません。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5	1	柱や棚の角など、危険のある所には保護材を付けていますが、手すりは頭をぶつける、登りたくなるなど事故に繋がる可能性があるため、必要なお子さんにはそれぞれ個別で大人がつくようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				第三者評価は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	6	2	発達検査としては行っていませんが、別機関での検査結果などを保護者からお聞きして支援や活動の参考にしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2		職員・スタッフ間で活動プログラムを話し合い、立案、実行、見直しを行い、日々試行錯誤しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1		それぞれの好きな活動や発達課題を把握し、積極的に取り入れ、活動が固定化してしまわないよう工夫しています。また、複数のお子さんが一緒に無理なく関わり仲間意識を深められるようなプログラムも考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	9	1		平日は学校での様子に配慮し、休日は家庭での困りごとなどがあれば、相談に応じています。長期休暇は屋外活動や室内活動のメリハリがついたプランを用意するなどし、状況に応じた支援につなげています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		個々に応じて、個別で楽しめる時間と集団活動の時間をバランスよく取り入れ、無理なく活動の幅を広げられるよう支援しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		安全に活動をするため、支援開始前にその日の予定や担当、注意事項などについて確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2		それぞれの子どもについてスタッフ全員で情報を共有するようにしており、相談支援事業所の会議には、該当児童に特に適した担当者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア対象者は受け入れなし

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象年齢外
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9		新型コロナウイルスのこともあり他施設との交流はないが、公園では感染防止しながら、地域の子どもたちと一緒に遊んでいます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	3		法人の理事が自立支援協議会の委員として会議に参加しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3	2	必要に応じて相談を受け、日頃、事業所で行っている支援方法や解決できそうな方法を職員で話し合い、できる限りの助言をしています。
保護者への説明責任	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	3		父母会活動や保護者とスタッフ合同の研修会を行うなど、交流を支援してきたが、最近はコロナ禍で難しくなっています。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	㉜	個人情報に十分注意しているか	10			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
非常時の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	8	コロナ禍で、感染防止のため現在は行っていない。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	2		月に1回程度、いろいろな曜日に火災や地震などのパターンごとに避難訓練を実施し、全員が経験できるようにしています。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			